

開講年次・時期	2年前期	授業回数		時間数	90時間	必修・選択	選択	授業形態	実習	単位数	2単位
---------	------	------	--	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK320	科目名	保育実習 I B(施設)	担当者名	棟方 梢
授業の概要	現代の多様なニーズに応えることのできる保育者として、主に施設保育士の役割や機能について理解を深める。特に児童養護施設や障がい者支援施設をはじめとした各種施設の社会的養護に係る実践を通して、施設保育士としての専門性を身につけると共に実践できるようになることを目的とする。				
科目の到達目標	1. 施設での実習を通して施設利用者との関わりや地域の福祉ニーズについて具体的に説明することができる。 2. 施設保育士の業務について理解し、業務を遂行するための知識や技術を身につけ実践に移すことができる。				
DPの観点	①聴く力(20), ⑥専門知識・技能(30), ⑦思考力(10), ⑧実践力(30), ⑨主体性(10)				
授業時間外学修(予習・復習)	予習: 日々の課題、ならびに指導案など2時間程度にかけて翌日の実習準備を整えておく。 復習: 日誌の作成を通して日々の振り返りと、翌日の実習課題へ向けた準備を2時間程度かけて整える。				
フィードバックの方法	提出課題やリアクションペーパーにコメントを付して返却する。				
単位認定の要件	90時間の実習実施を原則として実習日誌等の提出が完了した上で、総合評価が合格基準に達していること。				
評価の方法・割合(%)	事前・事後の準備(20%), 実習先からの評価(30%), 実習に望む態度(20%), 実習日誌の評価(30%)で総合的に評価する。				
履修上の注意事項	実習規定を守ることが実習を行う条件となる。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			施設の概要と実習計画を理解する	①, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
2			施設の一日の流れや活動について理解する①	①, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
3			施設の一日の流れや活動について理解する②	①, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
4			利用者の特性について理解し関わり方について学ぶ	①, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
5			施設保育士の業務を知る	①, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
6			施設保育士の業務に参加する①	①, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
7			施設保育士の業務に参加する②	①, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
8			対人援助方法について学ぶ	①, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
9			他職種との関わり方、連携の重要性について理解する	①, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
10			実習全体の総括と今後の学習課題を認識する	①, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨	実習日誌(課題・気づき・省察)
11					
12					
13					
14					
15					
期末試験			実施しない		

使用テキスト	実習指導ガイドブック他、資料・レジュメを配布する。
参考文献 参考URL	全国保育士会倫理綱領など適宜紹介する。
備考	保育実習実施基準に則る実習先で事前にオリエンテーションを受ける。進行状況により、各回のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--